



V. 仮説の検証

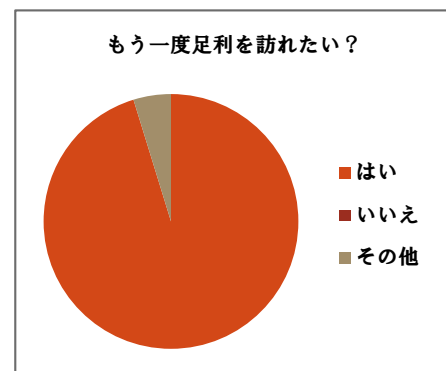
(1) 足利の魅力を伝えることができたか

仮説を検証するため、ツアーの際にとったアンケートの結果、「もう一度足利を訪れてみたいですか」という質問に、95%の人が「はい」と答えてくださり、マップについても高評価を得ることができました。「あし恋 MAP」と足利ロケ地めぐりツアーにより、足利の魅力を伝えることができた判断できました。さらに、「足利の印象をお聞かせください」「当ツアーのご意見ご感想をお聞かせください」という質問には、

- ・今まで体験したことのない貴重な旅行ができた
- ・ロケの裏話や撮影場所に行けたことに感動した
- ・映画で使用された場所で百人一首ができて感激した
- ・人がみな優しい
- ・古い街並みにカフェがあって鎌倉のよう
- ・自然豊かで歴史的建造物も多く、いい街だと思った

などの感想をいただきました。

このことにより、足利の魅力を発信できていると考えられます。



仮説① 高校生ならではの発想で、観光名所や特産物を掲載した観光ガイドマップを作成することで、足利市の魅力を伝えることができ、地域貢献、活性化ができるのではないか。



仮説は立証

(2) 足利市の魅力を広められたのか

まずは学校の HP に掲載し、活動の PR などを行いました。しかし、私たちの広報活動には限界があり、どのようにしたら良いか考えていたところ、私たち高校生の活動を応援してくれるたくさんの人々により広報活動が行われていました。その後私たちは、新聞・テレビなどの数々のメディアに登場することになりました。

JR 東日本駅からハイキング



(左) 読売新聞 (中) 両毛新聞 (右) 下野新聞



足利ロケ地カフェめぐり MAP・ツアー

マップ完成の報告に足利市役所を訪れ、足利市長表敬訪問をしました。今後も PR 活動が続けていき、足利市活性化に貢献していくことを説明しました。完成後のマップは、JR 足利駅 東武足利市駅、足利市観光協会や郵便局、市内カフェなどの各商店に設置してもらうことにしました。足利市内にとどまらず、栃木県庁内のアンテナショップや交流のある千葉商科大学内などにも設置しています。また、どのようにしたらマップが手に入るのかという問い合わせが多くきています。今後も拡張していきたいと考えます。



足利市長表敬訪問

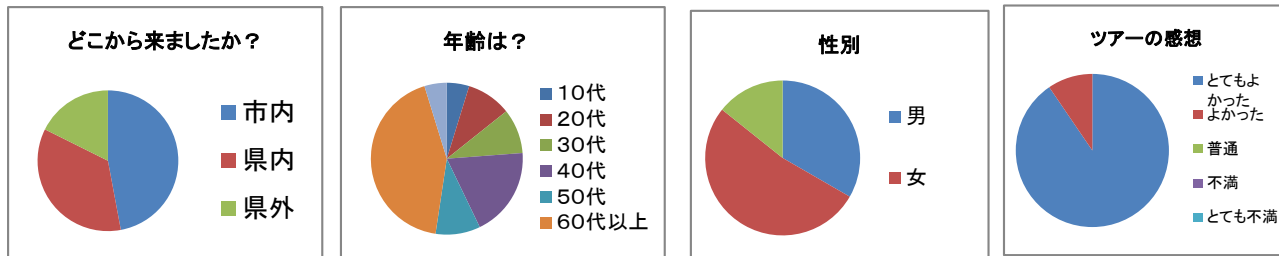


足利清風高校ビジネス研究部
周東里咲 部長

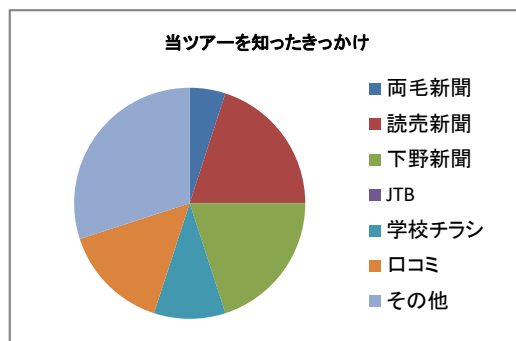


わたらせテレビ

ツアーの募集・参加申し込みは旅行業法により JTB 関東にゆだねました。募集開始から 2 日かからず満員となりました。わたしたちが広報活動をするまでもありませんでした。キャンセル待ちをする方もいました。参加者の内訳は市内・県内だけでなく県外からのかたもいました。50～60 歳代のかたが約半数を占めましたが、「高校生が一生懸命でとてもよかった」とのご意見が多くありました。



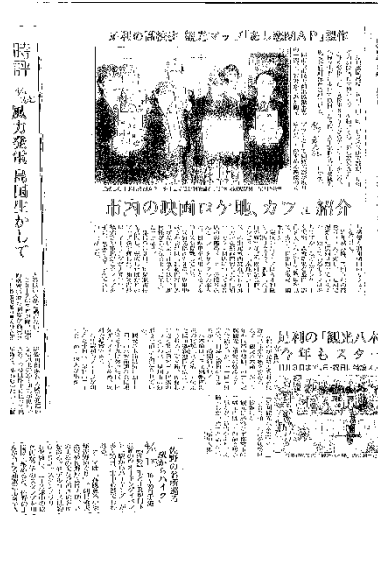
大盛況となったツアーやマップの問い合わせが多いその要因としては、高校生の活動ということに興味を持っていただくことができ、新聞やテレビといった情報発信ツールがたくさんあったからだと考えました。口コミで知ったという意見も興味深いところです。「またツアーを企画してほしい」「また来たい」「映画（ちはやふる）が見たくなった」などの感想もありました。また、この一連の活動を NHK において取材を受け、放送されました。きっかけは「下野新聞の記事」でした。「おはよう日本 首都圏」の放送を見てくださった多くの方からたくさんの励ましの言葉や応援の声をかけていただきました。また、学校にも問い合わせが増えています。



NHK H27.3.22 (火) 放送



朝日新聞 (3月26日)



産経新聞 (4月13日)



よみうりタイムス (3月15日)



下野新聞 (3月23日)



下野新聞 (3月24日)

仮説②広報活動を通じて足利市の魅力を広められ、来足のきっかけにつなげることができるのではないかな。



仮説は立証

VI. 課題と今後の活動

完成したマップを、JR 足利駅東武足利市駅、足利市観光協会や郵便局、市内カフェなどの各商店に設置していますが、とても反響がよく、すでに在庫がなくなっていて補充してほしいとの問い合わせが多くあります。増刷も検討しながら、随時追加していくことが必要だと考えています。コンスタントに設置し、定着を図ることが大切です。また、今後も様々な行事に参加し広報活動を続け、情報発信を続けながら、その場限りではない今後の活動を検討していく必要があります。**重要なことは種をまき続けること**だと考えます。

2017 年 3 月に「ツール・ド・とちぎ」という自転車プロロードレースが、栃木県で初開催となります。トップクラスのプロ選手が数日間かけて山岳コースや平地の公道コースを駆け抜ける「ツール・ド・フランス」型のレースで、地域活性化につなげようと県経済界を中心に準備が進められてきました。今回の第 1 回コースは第 1 ステージが日光市のだいや川公園から足利市総合運動公園までの 142.4Km で、初日のゴール地点が足利市となっています。日本人選手はもちろん、外国人選手も多く出場することが予想され、来足客も多くなると予想されます。また、近年増加している訪日外国人旅行者の動向は、「日本を訪れた旅行者のうち、首都圏（東京・神奈川・千葉・埼玉のいずれか）のみを訪問している人は全体の 21%とトップを占めていますが、関西圏（大阪・京都・兵庫・奈良のいずれか）のみを訪問している旅行者は 17%、東京をパスして関西だけを目的に日本にやってくる人が増えています。」（YOMIURI ONLINE）関西に惹かれるのは、「着物をきて古都を歩き、お寺や神社をお参りして、清水からみる景色が絶景である」という理由が多いといえます。足利市にも地元の着物「足利銘仙」を着て鑢阿寺をお参りし（ラグジュアリーツアー毎年開催）、織姫神社から見る景色は日本夜景遺産にも認定されているほどの絶景であり、カフェでコーヒーや地元のグルメを楽しめます。また、都市部と比較すると、交通のわかりやすさや人の温かさ、緑が多くのにびりとした雰囲気にも親近感をもってもらえ

ます。京都や大阪に負けないくらいの観光資源がある足利を訪れ、テレビのニュースや新聞記事よりも、足利市を旅した旅行者が SNS の口コミサイトに投稿した情報をみて、足利市に訪れる外国人観光客が増えていくことが確信できます。以上の理由から「あし恋 MAP」外国語版を作成し、足利市の魅力を海外の人にも伝える「インバウンドの交流文化型観光」を実現し、高校生のパワーとアイデアで地域活性化に貢献していきたいと考えます。



あし恋 MAP 外国語版



交流文化型観光

VII. まとめと感想

足利をどうするか？で、活動がスタートしました。高校生である私たちに何ができるのか、考えれば考えるほど難しく険しい道のりでした。足利の魅力を伝えるということは、改めて足利のことを知る必要があります、「足利学校や鑢阿寺、織姫神社といったすばらしい観光名所がある」というだけでは伝わらないのです。改めて足利市を調べ研究することで、新たな知識の習得、そしてますます地元足利市が好きになり、魅力を再発見することができました。今後もこの研究活動を続けていき、多くの方に足利市の魅力を伝えていきたいです。

この研究活動は、何よりも足利市役所、足利市観光協会、地元企業の方のご協力がなければこの一連の活動は行えなかったと思います。多大なるご指導とご協力に感謝申し上げます。また、この活動を通して、多くの方との出会い・触れ合い、つながりが持てたことは、私たちにとって何よりの財産です。授業において知識を学ぶだけでは人は生きていけません。知識を蓄えたり計算をしたり、論理的に考えたりすることはもちろん大切なことですが、感情や気持ちの持ち方・伝え方を学ぶこともとても重要なことなのです。現在の複雑化・高度化する社会で、自分をどのように表現して生きていくのか、人工知能やロボットに負けない心をどのように育んでいくのかがとても重要です。これから自分の人生をどのように楽しく充実させて生きていくのか、それを今回の活動を通して学べたように思います。心から感謝を表します。